



環境マネジメント

グローバルで課題を共有しながら、グループ全体で環境保全活動を推進しています。

● 矢崎環境取り組みプラン(2015年度の実績・評価と2016年度の目標)

評価基準 ●：達成率100%以上 ▲：達成率90%以上100%未満 ✕：達成率90%未満

項目	めざす状態または目標値	達成年度	2015年度の実績	評価	2016年度の目標
環境負荷物質への対応					
欧州-ELV指令への対応	欧州-ELV指令におけるANNEX IIへの確実な対応	2017	切替え対象品の特定	●	ANNEX IIの改訂動向に応じて実施
REACH規則・認可対象物質への対応	REACH規則の変化にともなう法規遵守と顧客要求対応	—	顧客要求対応として特定フタル酸エステルの切替えを実施	●	法規遵守、顧客要求対応の継続
欧州-RoHS指令への対応	欧州-RoHS指令への確実な対応	2018	社内期限の設定と切替え対象品の特定	●	特定フタル酸エステルの切替えの推進
中国車室内VOC規制への対応	車室内VOCに関する顧客要求が把握され、矢崎としての対応が明確になっている状態	2015	顧客要求の把握と矢崎における低VOC化の取り組みのまとめ	●	VOC揮発リスクが高い部品について評価の仕組みを強化
欧州-殺生物性製品規則への対応	欧州-殺生物性製品規則に対応するための仕組みが構築され、各開発部門で仕組みの運用が開始されている状態	2016	新規開発品の適合確認の仕組みを構築	●	仕組みの運用状況の確認
VOC排出量の削減(事業所)	JAPIA*対象工場において、VOC排出量を2000年度比で30%削減	2015	総排出量を2000年度比で49.3%削減	●	総排出量を2000年度比で30%削減
地球温暖化への対応					
CO ₂ 排出量の削減	グローバルでCO ₂ 原単位を2010年度比で20%削減	2020	グローバルでCO ₂ 原単位を2010年度比で27.0%削減	●	1)グローバルでCO ₂ 原単位を2010年度比で16%削減 2)2020年以降の目標案策定
循環型社会形成のための資源有効活用の推進					
排出物量の削減	1)グローバルで排出物量の削減を推進 2)国内全事業所における廃棄物量を2010年度比で10%削減	2020	1)各地域の目標値を達成 2)国内全事業所における廃棄物量を2010年度比で17.3%削減	●	1)各地域の目標達成 2)国内全事業所における廃棄物量を2010年度比で17.3%削減(2015年度実績の維持)
環境配慮型製品の開発					
環境配慮設計の推進	製品のライフサイクルを考慮した環境配慮型製品の開発および設計ができる状態	—	環境配慮型製品認定規定に基づく環境配慮設計の実施	●	環境配慮型製品認定規定に基づく環境配慮設計の実施を継続
環境マネジメントの充実					
環境コミュニケーション	ステークホルダーとの双方向的なコミュニケーションを通じ、企業の改善が継続的に実施されている状態	—	国内生産事業所にてサイトレポートの発行およびステークホルダーミーティングの実施	●	サイトレポートの発行およびステークホルダーミーティングの実施の継続
環境教育	計画に基づき環境教育が実施されている状態	—	国内事業所(部門、拠点)ごとに、専門教育を実施	●	専門教育を継続
環境コンプライアンス	各拠点に適用される環境法令の把握と法遵守のための体制が確立され、定期的に法遵守監査が実施されている状態	—	グローバルで71事業所の監査を実施	●	各地域での定期的な監査の実施
	製品に含有される化学物質に関する各国の法的要求および顧客要求を遵守するための仕組みが確立されている状態	—	IMDS/SOC測定データによる管理状況の確認	●	継続的な確認と仕組みの見直し
ISO14001規格改訂への対応	ISO14001:2015年版の規格に応じた仕組みの見直しができている状態	2017	各地域・拠点における新規規格への移行計画を確認	●	各地域・拠点における新規規格への移行計画の推進

* JAPIA 日本自動車部品工業会